

ゆかりの寺シリーズ その19

毛利元就 ゆかりの寺
「洞春寺(臨済宗建仁寺派)」

洞春寺は毛利元就の菩提寺で、元亀3年(1572)に孫の毛利輝元によって、現在の広島県安芸高田市に創建されました。その後、毛利氏とともに広島市、萩市、山口市へと移り、明治4年(1871)に現在の地に移りました。

境内には、国指定重要文化財の観音堂や山門、市指定文化財の鐘楼門や国清寺一切経蔵の礎石などがあります。

山門は、前後に控え柱のある桁行7.27m、梁間3.35mの四脚門で、屋根は切妻の桧皮(ひわだ)葺き。この門は、大内盛見がこの場所に、応永7年(1400)頃に開基となって建てた国清寺のもので、山門も同時期のものと考えられます。その後、国清寺は大火で焼失しているが、山門は離れていたので残ったと思われます。

観音堂は、由緒書によると、永享2年(1430)大内持盛が現在の滝町に創建した観音寺の仏殿です。観音寺は後に勝音寺と改まり、さらに江戸時代になって、大通院と改まりました。

幕末には寺が衰退しこの観音堂のみが遺存していましたが、朽廃がひどくなつたため、大正4年に現在地に移築されました。

一重階裳付入母屋造りの唐様の建物で、外部下層の化粧板軒は、全国的にも例の少ない珍しいものといわれています。



洞春寺山門



洞春寺本堂



洞春寺觀音堂入口



洞春寺觀音堂

本堂内の換気を徹底し、参拝者にはマスク着用及びアルコール消毒液の使用をお願い致します。

講師 堀靖史師(東広島市志和町光源寺)

六月十七日(土)
午前十時~ 朝席読経
午前十時半~ 朝席法話
午後一時半~ 昼席読経
午後二時~ 昼席法話
午後三時半 法要終了

(法要開催の予定)

「安居会(夏の法要)」(善教寺本堂)

四月十六日(日)午後一時半~
*毎月十六日に本堂において勤めております。

【宗祖聖人月忌】

「門信徒祥月命日法要」(善教寺本堂)

講師 長尾量之師(東広島市黒瀬町淨願寺)
午前九時~ 読経(正信偈)
午前九時半~ 朝席法話
午前十一時半 法要終了

(法要開催の予定)

「永代経法要」(善教寺本堂)

四月八日(土)

午前九時~
午前九時半~ 朝席法話
午前十一時半 法要終了



今後の法要スケジュール

ご縁に感謝
善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>
メール zenkyo@otera.or.jp